

議会だより

太子

だいで

No.195

平成30年11月5日発行

茨城県
太子町議会

目次

- 議会報告会 …………… 2～3
- 平成30年第3回定例会… 4～5
- 平成29年度決算の認定 …… 7
- 一般質問目次 …………… 8
- 「わくわくわたしの夢」…18

◎ 「シリーズ太子の風景⑩ S字カーブ ～奥久慈太子フォトコンテスト作品から～」 ◎

会を実施しました

担当議員

- 1班 菊池富也、櫻岡義信、岡田敏克、金澤真人、鈴木陸郎
- 2班 菊池靖一、須藤 明、大森勝夫、齋藤忠一、野内健一
- 3班 佐藤正弘、藤田英夫、中郡一彦、藤田 稔、吉成好信



議会報告会を開催しました。町民のみなさまの声を聴き取る貴重な場となっております。

開催方法や周知の方法など、課題改善に取り組み、より多くの町民のみなさまが参加していただけるような報告会を目指していきます。

町民の声と

議会の対応

議会関係

【依上】庁舎建設は必要だと思う。議会の立場でしっかり関わってほしい。

↓ 議会内で新庁舎建設検討委員会を立ち上げ検討が進んでいます。

【佐原】庁舎建設の進捗状況について説明してほしい。

↓ 財源、他自治体の視察、現在までの進捗状況、新庁舎建設検討委員会での検討を報告しました。

【依上】保健所再編案を知った時は不安を感じたが、議会は迅速に対応した。再編の話は一時凍結となったが、最終的には

残せるように続けて努力してほしい。

↓ 県の動向に注視し、対応します。

【上小川】大子町は、家庭用火災警報器の設置率が低いと新聞に掲載された。議会で質問があったり検討したりしているのか。

↓ 議員が一般質問をたびたび行っている。今年度町は希望者に抽選でも警報器を支給しました。

【下小川】後期高齢者の

健診が不満だ。議会報告会Q&Aにある、高齢者のサポートが町の重要政策であるならば、議会の対応、町の今後の方向は不十分である。国や県に頼るだけでなく、町独自で実施を進めるべきである。また、町に対し、議員提案も検討すべきである。

↓ 第3回定例会、議員の一般質問で町からの

答弁によれば、「町独自に後期高齢者健診の検査項目の追加が必要か、または可能かどうか今後検討していきたい。」との答えです。で、今後も町の対応に注視していきます。
(文教厚生委員会担当)

【下小川】昨年の議会報告会で、つくばの森の視察や森林セラピーについて報告された。今回の報告会では触れられていない。その後の取り組みを説明して欲しい。

↓ 大子町森林セラピー推進協議会が9月21日に設立され、今後ガイドの育成、先進地での研修、子ども向けイベントなどの事業を実施する計画です。

大子町議会報告

実施日

7月25日(水)

大子・池田、依上、黒沢 地区

26日(木)

佐原、宮川、袋田 地区

27日(金)

生瀬、上小川、下小川 地区

■今回は議会回答分を掲載しました。次回、議会だよりNo.196号には、町からの回答分を掲載予定です。

↓今後の検討経過を見ていききたいと思います。

【宮川】医療圏見直しをして大宮済生会病院が来たので、それに合わせて保健所の再編ができないのか。

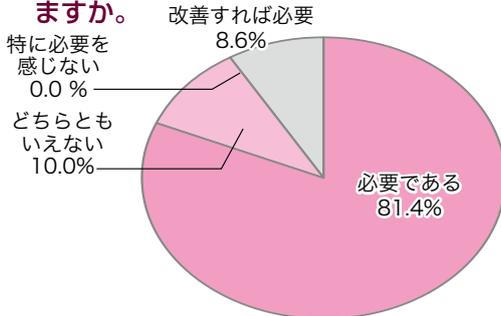
↓3首長と2議会が存続の要望書を知事に出しています。今後も対応を考えたいと思います。

(その後、9首長と4議会に増えました)

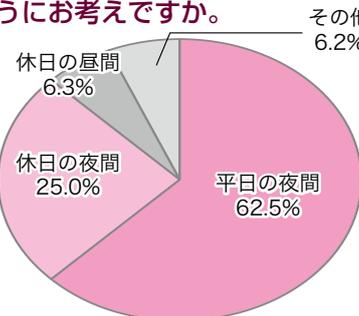
【生瀬】かつて統合された3つの保健所に勤務した経験があるが、最初は縮小されてやがて廃止になった。相当強気に運動しないと大宮も同じではないか。

議会報告会アンケートから

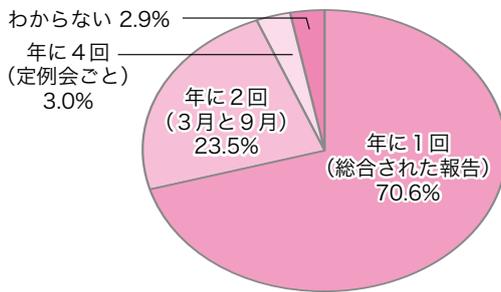
1 今回のような議会主催の報告会をどう思われますか。



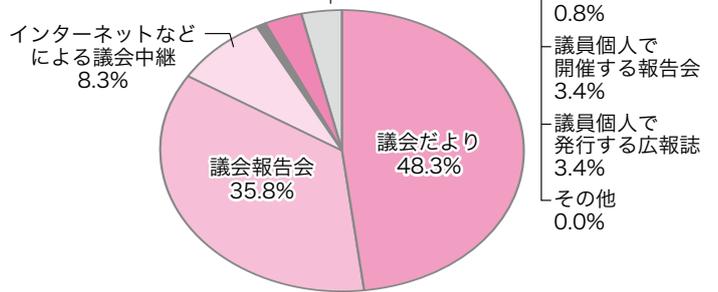
3 議会報告会を必要と感じた方は、開催日をどのようにお考えですか。



2 議会報告会を必要と感じた方は、開催頻度はどのくらいが適切だと思いますか。



4 議会の広報手法について必要と思われるものは何か。(複数可)



議会報告会の感想・意見 (アンケートから：抜粋)

- ・参加者があまりに少ないので、どうすれば参加者が増えるか検証すべき。
- ・議員との話し合いは良いと思う。
- ・報告会の日程をもっとわかりやすくして、町民に関心の持たれるようにすると良い。
- ・地区ごとの質問は地区ごとに知らせることがよいのではないか。
- ・いろいろな意見が出てとても勉強になりました。

平成30年
第3回定例会

平成30年度一般会計補正予算

6,582万1千円
の増額

タブレット端末取得を承認

小中学校でタブレット端末教育が始まります。

平成30年度大子町一般会計補正予算（第4号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ94億3,660万2千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計3,186万8千円の増額、後期高齢者医療特別会計15万2千円の減額、介護保険特別会計2,983万1千円の増額、介護サービス事業特別会計14万4千円の増額、浄化槽整備事業特別会計5万6千円の増額の補正がありました。

水道事業会計については、収益的支出1,506万5千円の増額補正のため補正後の予定額は5億2,090万1千円、資本的収入68万1千円の増額補正のため補正後の予定額は1億3,116万1千円、資本的支出1,714万9千円の増額補正のため補正後の予定額は3億1,505万1千円となります。

一般会計補正予算の主なもの

歳入	補正額
地方交付税	6,747万2千円
県支出金	804万2千円
繰入金	74万9千円
町債	△1,215万3千円

歳出	補正額
森林セラピー推進事業費	153万9千円
タクシー利用助成事業委託料（免許返納者対象）	135万2千円
儲かる産地支援事業補助金	314万8千円
特産品販売推進事業費委託料	173万9千円
八溝山登山道修繕工事請負費	100万円
袋田の滝歩道落石防護柵設置工事請負費	607万5千円
黒沢小学校閉校記念事業補助金	300万円

運転免許証の返納者に
タクシー利用助成が始まります。



第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第4号	継続費の精算報告について	報告済
議案第64号	太子町いじめ問題調査委員会及び太子町いじめ問題再調査委員会条例	原案可決
議案第65号	太子町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第66号	太子町教育支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第67号	太子町地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第68号	太子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第69号	町道の認定について	原案承認
議案第70号	太子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第71号	平成30年度太子町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第72号	平成30年度太子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第73号	平成30年度太子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第74号	平成30年度太子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第75号	平成30年度太子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第76号	平成30年度太子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第77号	平成30年度太子町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第78号	平成29年度太子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第79号	平成29年度太子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第80号	平成29年度太子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第81号	平成29年度太子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第82号	平成29年度太子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第83号	平成29年度太子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第84号	平成29年度太子町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定
議案第85号	太子町立小中学校 ICT 環境整備事業に伴うタブレット端末の取得について	原案可決
議案第86号	太子町公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第87号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
委員会報告 第4号	常任委員会審査報告（文教厚生委員会）	原案可決
議員提出議案 第5号	議員の派遣について	原案可決
議員提出議案 第6号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	原案可決

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案番号	議案名	賛否数		議 員 名														
		賛成	反対	菊池富也	須藤明	藤田英夫	菊池靖一	櫻岡義信	中郡一彦	岡田敏克	大森勝夫	金澤真人	齋藤忠一	佐藤正弘	鈴木陸郎	藤田稔	野内健一	吉成好信
第71号	平成30年度大子町一般会計補正予算	12	2	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	○
第78号	平成29年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
第79号	平成29年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
第80号	平成29年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
第81号	平成29年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対、△=欠席 - =議長（大森勝夫議員）は採決に加わりません。

10月16日～17日 群馬県邑楽町・中之条町 常任委員会合同視察研修

邑楽町は、町の中心部にシンボルタワー、役場庁舎、保健センター、図書館、中央公民館と集中させて一体化している。最初に建設されたのは高さが約60メートルのシンボルタワーである。建設に際し、町民から364件のアイデア寄せられた。中央公民館建設でも、町民の意見の集約する機会が数多く設けられ、音響、舞台、移動式の観客席など最新の設備を備えている。町民の利便性、町、議会が「先を見る目、未来を見いだす力」を発揮していた。

中之条町は、人口減少に歯止めをかけるため、住宅、出産、子育て支援、出会いの場づくりなどを進めている。新婚家庭に対する新米60kgプレゼントはユニークな取り組みであった。2年ごとに開催される「中之条ビエンナーレ」は、町内の50カ所以上の会場で開催され、各内外からの参加アーティストは160組、1カ月の来場者は延べ40万人を超えている。また、歴史と民俗の博物館「ミュゼ」は、明治初期の洋風学校建築構造の廃校が活用されている。企画展の開催、展示内容が充実していた。研修視察の中でそれぞれの町の事業に対する熱意、意気込みが感じられた。



(産業建設委員会)

大子町教育委員会委員に出村尚英氏を再任

大子町教育委員会委員に出村尚英氏（大字袋田）を再任することに同意しました。

大子町公平委員会委員に皆吉俊一氏を選任

大子町公平委員会委員に皆吉俊一氏（大字大子）を選任することに同意しました。

人権擁護委員候補者に栗山洋一氏を推薦

人権擁護委員候補者に栗山洋一氏（大字大子）を推薦することに同意しました。

あなたから出された請願は

請 願 名	請 願 者	付託委員会	結 果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	水戸市笠原町 978-46 茨城教育会館 2 F 茨城県教職員組合 代表 杉山 繁 ほか 103 名	文教厚生委員会	採 択

※採択された請願は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁に意見書を提出しました。

平成29年度 決算を承認

平成29年度の予算執行について、一般会計の主な事業及び決算並びに特別会計・水道事業会計の決算は別表のとおりです。

平成29年度 一般・特別・水道事業会計決算

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額
一 般		98億6,538万4,419円	94億4,757万5,780円
特 別 会 計	国民健康保険事業	28億1,547万2,784円	27億2,876万3,930円
	後期高齢者医療	2億3,811万7,111円	2億2,814万6,457円
	介護保険	25億8,314万5,677円	24億5,102万5,686円
	介護サービス事業	2,083万6,790円	2,083万6,790円
	浄化槽整備事業	1億 61万1,260円	1億 60万5,935円
水道事業会計※	収益的収支	4億7,832万2,341円	4億 891万2,945円
	資本的収支	1億7,612万2,611円	3億6,017万 888円

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億8,404万8,277円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,193万3,812円、当年度分損益勘定留保資金1億676万1,849円、建設改良積立金取り崩し6,356万3,957円、減債積立金取り崩し178万8,659円で補てんしました。

平成29年度主な事業と事業費

○地方創生拠点整備交付金事業	19,435千円	○消防施設整備事業	63,098千円
○高齢者福祉対策事業	5,020千円	○小学校施設整備事業	20,345千円
○大子町保育所等整備事業	106,972千円	○中学校施設整備事業	2,133千円
○環境衛生施設整備事業	18,168千円	○保健体育施設整備事業	9,029千円
○林道開設改良事業	25,569千円	○第74回国民体育大会推進事業	41,951千円
○道路新設改良事業	301,339千円		
○池田住宅建設事業	114,212千円		
○上小川第二住宅建設事業	114,477千円		
○(仮称)袋田第二住宅建設事業	21,472千円		
○(仮称)内大野住宅建設事業	75,805千円		
○(仮称)芦野倉住宅建設事業	25,748千円		



道路改良事業（上岡地内）



高規格救急車の購入

平成30年第3回定例会

町政に

ここが聞きたい！これを言いたい！

9人の議員が一般質問！！

質
問
席

質 問 内 容	ページ	質 問 者
グラウンドや施設等の利活用は	P.9	藤田 稔 議員
対象者世帯への住警器設置促進を		
町の観光資源を活かした誘客対策を		
ごみ袋の取り出しやすい改善は	P.10	野内健一 議員
大子町独自の交通網システムの構築は		
庁舎と図書館の複合施設にしては	P.11	菊池靖一 議員
薬の飲み残しを減らす町の取り組みは		
高齢者の健康診断への支援は	P.12	佐藤正弘 議員
八溝山への県道、町道、景観対策は		
常陸大宮保健所の統廃合について		
新庁舎建設の課題と工事費は	P.13	鈴木陸郎 議員
町の諸問題について伺う		
インバウンドの受け入れ体制を	P.14	須藤 明 議員
登山者からの情報や感想、意見の入手を		
簡素で使いやすい庁舎にすべき	P.15	金澤真人 議員
黒沢小学校統合後の跡地利用について		
行政連絡班の負担軽減を	P.16	齋藤忠一 議員
健康寿命を延ばすには		
みどり号を小型化させ、さらなる支援を		
鮎のつかみ取り複数回の開催を	P.17	中郡一彦 議員
やな場下流に川遊びのできる場所の整備を		
鮎の塩焼き職人の担い手を		

◇一般質問とは…

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等を質すことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

スマホで議会中継見ませんか！

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができます。

(※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。)



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから





藤田 稔 議員

グラウンドや施設等の利活用は

答 グラウンドゴルフ場や寮として

場や施設等の活用についてはどのように考えているか。

【まちづくり課長】 グラウンドに芝を養成し、グラウンドゴルフ場として地域の方々に利用していただく。管理人棟は、大子清流高校の寮としての活用も視野に理科大と調整したい。

【藤田】 フットサル場としての活用についてはどうか。

【まちづくり課長】 要望はあるので、面積や実際の使用



グラウンドや施設を利用して町民との交流を

頻度等を調査し、どのような施設が必要か調査したい。

【藤田】 飲食店組合との協議はされてきているのか。

【まちづくり課長】 大子町振興公社を通じて、要望は聞き取っている。

【藤田】 今後の契約についての考えは。

【町長】 契約期限が来年の1月なので、3か月前には交渉を始めた。

対象者世帯への住宅用警報器設置促進を

【藤田】 福祉課で実施している「大子町高齢者等住宅用火災警報器配置事業」の目的及び利用対象者を伺う。

【福祉課長】 在宅の高齢者等の住居に住宅用火災警報

器を設置し、高齢者等の生命財産を守り、安全・安心な町づくりに寄与することを目的としている。町内に居住し、住民税非課税世帯が前提となり、65歳以上の独り暮らし、または、高齢者のみで構成する世帯に属する者。障がいのある方がいる世帯。町長が特に必要と認めた世帯となっている。

【藤田】 設置状況は。

【福祉課長】 平成24年度から合計で62台となっている。

町の観光資源を活かした誘客対策を

【藤田】 袋田の滝及び生瀬の滝が国名勝に指定された。また、滝として全国で初めて恋人の聖地に認定された。それぞれを活かした誘客対策はされてきているのか。

【観光商工課長】 パンフやポスター等、国名勝の文字を活用して観光PRしている。今年度は、茨城大学生

による若者目線、女性目線を意識した恋人の聖地としての袋田の滝の魅力を発信するPR動画の作成をする。

【藤田】 恋人の聖地にふさわしい整備はどう考えているか。

【観光商工課長】 モニュメントがあるところも含めて、関係者と協議していきたい。

【藤田】 袋田の滝周辺の整備についての考えは。

【観光商工課長】 観光客の安全対策として、落石防護柵設置工事を予定している。自然科学園周辺、月居山、ハイキングコース等は、現地確認を行い、整備を検討したい。

【藤田】 町独自の施策を観光施設やコンビニ等で情報を発信し、移住・定住促進に繋げるとした取り組みの状況は。

【まちづくり課長】 町外イベント等で情報発信に努めている。また、町内の観光施設、シェアオフィス、民間カフェ等にチラシを設置した。コンビニの設置も調整している。



ごみ袋の取り出しやすい改善は

【答】来年度から対応したいと考える



野内健一 議員

【野内】 大子町で販売されているごみ袋について、改善ができないものかと提案を受けた。10枚1束で梱包されているので、使用する時、その束を必要な枚数分だけ解く必要がある。この作業が、手の不自由な方や高齢者には不便である。隣の常陸大宮市では、1枚1枚が取りやすいように折りたたんで、梱包されているため、使用する時、とても取り出しやすい。高齢者世帯が大変多い本町の場合、



大子町で使用されているごみ袋

この方法に改善するだけで、ずいぶん暮らしやすくなると思うが。
【生活環境課長】 ごみ袋の梱包の改善については、環境センターにも町民の声を寄せられている。1枚ずつ

折り畳んで、10枚を1梱包にして取り出しやすくする改善で検討している。現在の小売価格を変えないで、来年の夏以降に販売できるように対応したい。

大子町独自の交通網システムの構想は

【野内】 運転免許証の自主返納の促進策について、現在実施されているタクシー利用助成金制度を応用する手法が提案された。私は、現在の利用者も含め、タクシー利用の助成金を現行の2分の1から4分の3へ増額するものと思っていた。

しかし、増額対象者は運転免許証を過去を含め自主返納者のみに限定している。これでは同じ病院へ通院する人でも、過去の自動車免許証の有無により、補助額に大きな差が出てしまう。町民からの不満が出るのではないか。

【町長】 この施策の目的は高齢者の交通事故防止であり、現在行っている高齢者の交通手段の確保や経済負担の軽減とは目的が違う。

【野内】 過去の運転免許証の有無による不公平感の解消のためにデマンド交通システムを大子町独自に構築できないか。今後1年間くらいかかってもいいと思うので取り組めないか。

【町長】 デマンドタクシーに関わらず、高齢者の方が経費負担をできるだけ少なく済む方法はどのようなものがあるのか、病院にでも、買い物にでもいつでも行きたいときに行けるようなシステムをつくることを目的として検討していきたいと思っている。





庁舎と図書館の複合施設にしては

【答】庁舎と絡めて考えるのは難しい



菊池靖一 議員

200人以上の人が来庁するので継続的な賑わいが出る。

【菊池】最初は珍しくて来られるかもしれないが、庁舎だけでは長続きしない。役場から永源寺までの押川堤防遊歩道が約1km整備されたが、観光客の利用促進策は。

【観光工商課長】遊歩道に誘導するためのマップなどをホームページ等でも早めに周知してPRする。

【菊池】新庁舎は、1階駐車場を含め3階建て案が有力だが、半分を4階にして図書館との複合施設にしてはどうか。

【町長】図書館がいつまでも今のままでいいとは思っていないが、庁舎と絡めて考えるのは建設費も大きくなるので難しい。

【菊池】建設費については、今予定している庁舎の長さ97mと広すぎるスペースを見直し、70m以下に抑え、その分を4階に充てれば工事費に極端な影響はないのではないかと。

【総務課長】十分に住民説明会も含めて計画的に進めてきた中で、新たな機能を

追加するのは今の段階では難しい。

薬の飲み残しを減らす町の取り組みは

【菊池】処方されても飲まずに残っている薬が全国で500億円にもなると言われ、社会問題にもなっている。残薬を減らすため町ができることは何か。

【町民課長】地元の医師会や薬剤師会等の関係機関との連携や情報収集、周知・広報活動を通して被保険者の意識啓発に努め、ジェネリック医薬品の利用率の向上と残薬解消を図っていく。

【菊池】残薬を入れて病院や薬局に持参してもらう「節約バッグ運動」のように薬持参袋の取り組みは有効ではないか。

【町民課長】まずはお薬手帳の正しい使い方、残薬解消の重要性を伝えていく。

【菊池】新庁舎が本庁舎西側町有地に決定したことにより、中心市街地活性化が図られる町づくりを進めなければならないが、整備計画の考えは。

【町長】文化福祉施設とバスターミナルが近くなることで、中心市街地の一体感が出てくる。

【菊池】中心市街地活性化基本計画との兼ね合いは。

【町長】基本計画とは作る施設が違うだけで庁舎ができれば毎日100人、



9月末に完成した押川遊歩道



読書のまち宣言にふさわしい図書館を



高齢者の健康診断への支援は

【答】町民の意見を踏まえ今後、検討する

の意見も踏まえ、町独自に後期高齢者健診の検査項目

の追加が必要かまたは可能かどうか今後検討していく。



佐藤正弘議員

八溝山への県道、町道、景観対策は

【佐藤】 高齢者福祉対策、高齢者福祉の充実が町の重要な課題である。75歳以上の高齢者の健診について、希望者に町が支援すれば、国保加入者同様の健診が可能ではないのか

【町民課長】 高齢者の健康診断について、希望に応じて、心電図、貧血検査等を有料で行っている。一部の町民から国保の特定健診の検査内容と同じく、無料の検査項目を増やしてほしいと要望を受けている。町民

【佐藤】 県内最高峰を誇る八溝山へ通じる県道は、昼間でももうす暗く、乗用車、バス等のすれ違いにも困難をきたす所がある。土砂崩れが起きれば孤立する恐れがある。どの様な事情で整備、拡張が遅れているのか

【町長】 山側が非常に急峻で広げることができなかったと聞いている。また、川まで崖が落ち込んでいる所があり一番のネックになっている。拡張するには部分的に非常に難しい所があるという気がする。

【佐藤】 一つ一つの観光地の魅力を引き出すためには道路の整備、拡張が必要である。県の土木とも連携を

強めていく必要があるのではないのか

【町長】 確かにう回路がない所であり、早急に整備していただければと思っている。県に対しきちんと要望していく。

【佐藤】 八溝山の景観については、前議会でも取り上げられた。新しい展望図ができたが、町はどのような対策を行っているのか



整備拡張が求められる八溝山へ通じる県道

【観光商工課長】 棚倉の森林管理署に相談したが、伐採するのは難しい状況である。

【佐藤】 一定の景観を保全するための、景観を悪化している一部の枝を切り落と

常陸大宮保健所の統廃合について

【佐藤】 県の保健所再編に関係する大子町議会も含む4議会で見解書が採択された。また、自治体では大子町を含む9自治体が単独、または連名で要望書を提出した。6月議会で町長は、常陸大宮保健所の再編に関し「しっかりと反対していく」と答弁しているが、どのような取り組みをしていくのか

【健康増進課長】 常陸大宮市、那珂市とともに、7月9日に県知事に再編案に対する反対と見直しを求める要望書を提出した。今後、県が開催する懇話会の動きを注視していく。現行の再編案が進められていく場合には、十分な検討による見直しや住民への窓口機能の

すことは可能ではないのか

【町長】 景観についてはいろいろな問題がある。どのようにすれば、もう少し景観が確保できるか現地を見ながら考えていく。

低下を招かない対応を県に強く求めていく。

【町長】 この保健所の再編は基本的に県の組織をどうするかであり、県議会の承認を得ることになる。地元の県議会議員がそれぞれの地元の意向を踏まえ、主体的に対応するのが大原則である。そうはいっても、これは町民の生活に密接にかかわる問題でもあり、町としても積極的に県に働きかけていくし、県議会議員を通して働きかけをしていく。

その他の質問

○高齢者の免許返納支援制度について

○前冥賀地区の太陽光発電について



新庁舎建設の課題と工事費は

答 本体工事費20億円である



鈴木陸郎 議員

町の諸問題について伺う

〔鈴木〕 奥久慈だいがやな漁業組合は、6155万円の出資金があり、実質的に破たんしている。組合をどうするのか伺う。

〔鈴木〕 新庁舎建設について、人口減少に伴いコンパクトな施設で良いのではとの意見が多数だが工事費は。

〔町長〕 無駄な予算を使わないことを前提とし、本体工事費20億円を予定している。

〔鈴木〕 利用者、町民本位の建物であるべきだが、設計依頼について伺う。

〔町長〕 1カ所でサービスできる機能を持った建物を設計業者に指示している。

〔鈴木〕 奥久慈だいがやな漁業組合は、6155万円の出資金があり、実質的に破たんしている。組合をどうするのか伺う。

〔町長〕 収入に対して、固定費が大きな負担となっている。存続について具体的に検討していないが、努力をする。

〔鈴木〕 県議会議員、町議会議員と町長が連携し、さまざまな課題の解決に努力すべきと思うが町長の考えは。

〔町長〕 国・県・町は役割を分担し行政を進めている。しかし調整が難しいものは、皆で連携し進めるよう努める。

〔観光商工課長〕 崩落は平成25年頃、大雨等によることと思う。

〔鈴木〕 約5年経過しているが、地元・団体から対策について要望があったか。

〔観光商工課長〕 要望書はないが、地元関係者から聞いていた。

〔鈴木〕 要望書がなければやらないのは、観光大子をうたっている町としては恥ずかしい話である。町長の決裁がなければできないとのことだが、課長決裁はいくらか。

〔町長〕 工務所と町が協議し連携を図る。

〔鈴木〕 直売所対策として、多品目少量生産型農業を奨励してきたが、将来産業として考えると、機械が使える土地利用型農業であるが、特に畑地の基盤整備が遅れている。考えを伺う。

〔町長〕 5ha以上の農地があれば、所有者負担なしでできる。

〔鈴木〕 八溝山名水めぐりハイキングコースについて、何が原因で、いつ崩落したのか。

〔観光商工課長〕 迂回路を設ける予算で、現場は重機や車両が入るのは難しいと聞いている。建設課は現場を見ていない。



早急な改良が待たれる八溝山ハイキングコース



現在の迂回路



インバウンドの受け入れ体制を

積極的に対応していきたい



須藤 明 議員

定、このターゲットを対象に取り組んでいく。

【須藤】来年度、取り入れていきたい事業は。

【観光商工課長】インバウ

ンド関係で新しく取り組んでいきたい。

【須藤】茨城空港からの入
外国人は年々増加傾向に
ある。インバウンドの受け

【須藤】町では5カ年間で期間として、大子町観光振興基本計画を策定した。2022年度には150万人の入り込み客数の目標値を設定しているが、具体的な事業は。

【観光商工課長】観光客数を増加させるには、新たな顧客層を呼び込むことが必要不可欠である。新たなターゲットとして、20代から40代の女性旅行者、特定の目的を持った旅行者、訪日外国人旅行者の3つを設



インバウンド（訪日外国人観光客）の受け入れ強化が望まれる

入れについてどう考えているのか。

【観光商工課長】茨城空港の国際便は、今後も東アジアを中心に更なる訪日外国人の増加が期待される。外国人観光客とコミュニケーションを図れるようなツールの開発整備、また、在日外国人等を活用した観光地づくりにも取り組んでいきたい。

【須藤】去る8月、茨城新聞に「笠間市、台湾市に観光誘致のための現地事務所を開設」との記事が掲載された。将来インバウンドの時代は必ず来ると思う。プ

登山者からの情報や感想、意見の入手を

【須藤】山岳事故防止の観点から、協議会とは別に登山者からの情報や感想、意見を手取る方法は考えられないか。

【観光商工課長】登山者からの感想やご意見を伺う方

プロジェクトチームを立ち上げ、今から調査研究を進め、アクションへと進むべき時期と思うが町長の考えは。

【町長】外国人もいろんなパターンがあり、それに合った町としての対応をしっかりと計画して受け入れ整備をしていかなければならない。旅行業の専門家の意見や広域的な連携も図ってきたい。

【須藤】前向きに検討されると理解してよろしいか。
【町長】この受け入れについては、積極的に対応していきたい。

法は、SNSや登山者用のGPS地図であるヤマレコマップなどに、登山記録の写真、感想、意見等も掲載されており、これらを参考にしながら一層事故防止対策を打っていきたい。



簡素で使いやすい庁舎にすべき

【答】無駄をなくしコンパクトにする



金澤眞人 議員

簡素で使いやすい庁舎を要望したが設計に反映されるのか。

【総務課長】 2階玄関へ緩やかなスロープに変更し、利用の多い窓口を2階に配置し利用者の利便を図る。規模も当初の提案よりかなり縮小し、無駄をなくしてコンパクトにしている。

【金澤】 庁舎建設にあたり、事業費の概算は。また、国や県の補助金と返済方法は。

【総務課長】 事業費概算は26億円を見込んでいる。庁舎建設の積立金9億円と公共施設等適正管理推進事業債17億円を財源とする。平成32年度までに建設すれば約5億円ほどが国から交付される。借入の返済期間は最長で30年となる。

【財政課長】 なるべく後年度に負担の少ない、町にメリットが多い借り方、予算の執行を考えている。

【金澤】 いばらき木づかいチャレンジ事業の補助対象になるか。

【総務課長】 補助対象となると思うので県に要望していく。

【金澤】 地元材の利用や、地元業者の活用など地元にお金が還流する工夫はしているのか。

【総務課長】 林業の町をPRするため地元産材を積極的に活用したい。内装やカーウンターなど八溝材を使用し町の特色を具現化した空間づくりを努めたい。

また、地元業者の活用については、森林組合や林業事業者、製材所等木材伐採から加工まで対応できると考える。また外構工事なども地元業者が施工に携われるよう検討する。

【町長】 地域の意見を聞きながら決めるが、芝生を植えてグラウンドゴルフ場として活用すれば緊急時のヘリポートとしても利用できると、地域のイベントにも使用可能と思う。

【金澤】 教室や体育館の利用についてはどう考えるか。

【町長】 体育館はグラウンドと同じように地域の方がスポーツやイベントを通じ交流できるような方向で検討したい。教室についても地域のみなさんの活性化のために活用できないか考えている。

【金澤】 個人や団体あるいは事業者などに教室を区分けして貸し出すことは可能か。

【町長】 地域のみなさんの意見を聞いたうえで、みなさんの理解が得られ、それが地域や町にとって有効な活用かどうかということをお貸出しの判断基準にしたい。

【金澤】 学校が無くなっても地域のよりどころとなるような活用を望むが町の考えは。また机やいすなど備品を残した教室があってもいいのでは。

【町長】 古いものを残すことは心のよりどころになるが、その一方で新しい利用方法というのでも地域のよりどころになると思う。どう活用するのかというところが大切と思う。

その他の質問

○町の主要施策の成果と今後の状況について。



統合間近 黒沢小学校



行政連絡班の負担軽減を

【答】連絡班長の支援策を検討する



齋藤忠一 議員

【齋藤】行政連絡班が、高齢化やひとり暮らしの増加により支障が出ている。町として、それらを把握し支援すべきと思うが。

【総務課長】高齢化による担い手不足については、以前より指摘されており、平成26年に各連絡班長を対象にアンケートを実施している。これを踏まえて、集金業務の時期、集約先及び集金方法の見直し、回覧や配布物の減量化に取り組んだ。しかしながら高齢化や

ひとり暮らしの増加で、連絡班長の選出が年々難しくなっている。今後、各区長にもアンケート調査を行う予定である。その上で、区長や連絡班長の更なる負担軽減や支援策を検討していきたい。

健康寿命を延ばすには

【齋藤】健康寿命を延ばす事業の一つに健康づくりポイント事業がある。昨年の結果を見ると、この事業の

参加者のうちポイントの完了者が約3割である。健康寿命を延ばす事は、今後の医療費や介護費を抑えるこ



連絡班長の負担軽減が課題

ともつながると思える。さらなる充実を考えるべきではないか。

【健康増進課長】記念品を交換した人の割合が少なかった理由としては、昨年度から始まった事業で周知が行き届かなかった。また、申し込み期間が短かったためだと思う。今後はそれ

みどり号を小型化させ、さらなる支援を

【齋藤】免許返納者が増える中、買い物弱者と言われる人達が増えている。今回、免許返納者に対しては、新たにタクシー利用助成金を割り増しするなどの対策を検討しているが、現在の助成には賛否両論がある。そのような中、現在、利用しているみどり号などを小型化してサービスの充実を図ってはどうか。

らを改善し、また対象事業を増やし充実させたい。

【町長】健康寿命については、喫緊の必要な課題だ。この健康ポイント事業は健康づくりの事業の大きな一つの位置を占めており、今後しっかりと充実させたい。

【町長】みどり号はスクーターバスと共通している部分があり、小型化すると小型車を購入しなければならず、二重投資となり難しい。例えば20人乗りぐらいの車があれば対応できる場合も考えられる。交通再編協議会などで、来年ぐらいまで慎重に検討していきたい。



鮎のつかみ取り複数回の開催を

【答】課題もあり観光協会と相談する

の声があるが、町の考えを伺う。

【町長】この催しは観光協会が主催し、町の補助事業として開催している。準備

の関係などで観光協会も手いっぱい状況であり、今後は少し縮小したいとの話

もある。夏休み期間中に複数回の開催はさまざまな問題もあり、現在の状況では難しいと考えている。

【中郡】現在のようないイベントではなくても、良いと思う。規模を小さくして複数回開催できないか



中郡一彦 議員

【中郡】今年、観光振興基本計画が策定された。その中の調査結果を見ると、観光素材に対するアンケートで「鮎のつかみ取り」に人気がある。家族連れやグループ等での体験型レジャーが好まれていることが反映されていると思う。今年も約2000人ほどの参加者があり、大変な賑わいであった。しかし年1回の開催であり、参加したいが都合がつかず参加できない、年に複数回開催してほしいと



家族連れで賑わう鮎のつかみ取り大会

検討してはどうか。

【町長】費用もかかること

やな場下流に川遊びのできる場所の整備を

【中郡】本町には観光客が周遊できる観光スポットが少ない。観光客の増加や滞在時間の延長などにつながらない要因の一つだと思う。

来町する観光客の半分は家族連れであり、子どもたちに人気のある川遊びのできる場所を、やな場下流域に整備してはどうか。道の駅に近く、利便性・景観

なので、観光協会と相談して検討したい。

共に良い場所だと思いが、町の考えを伺う。

【観光商工課長】町内のキャンプ場は、ほとんど川遊びが楽しめると思う。ただやな場付近は利便性も良く、川遊びをしている家族も多く見受けられる。安全性を十分考慮したうえで、必要な周辺の環境整備を検討していきたい。

鮎の塩焼き職人の担い手を

【中郡】近年、道の駅だいたいごと大子やな場の鮎の塩焼きが人気をよんでいる。単に鮎の塩焼きと言っても、

おいしく焼くには技術を要する。鮎を焼く職人さんが少ないうえ、高齢化しており、今後の営業が不安であると聞いている。鮎塩焼き

職人の担い手を考える必要があると思うが考えを伺う。

【町長】鮎の焼き方に技術が必要であり、そういったことを伝承しなければならぬ。後継者対策を考えて伝統をつなげるようにしたい。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく

わたしの夢



南中3年
かみなが しょう
神長 稜さん
(大字頃藤)

僕の夢は、パソコン関係の仕事に就き、人に役立つ仕事をする事です。以前からパソコンに
関心はありましたが、強く思うようになったきっかけは、テレビで見たニュースでした。
病院から遠く離れた場所に住むお年寄りの方に、パソコンを使って診察をしている様子を見た
ときです。パソコンを使えば、他にも多くの人に役立つ仕事ができるのではないかと考えました。
具体的にはまだ決まっていませんが、好きなパソコンを活かし、人に役立つ仕事ができるよう、
毎日の学習にしっかりと取り組んでいきたいと思
います。

第4回定例会

11月開催予定

▽14日(水) 開 会
▽15日(木) 18日(日) 自 宅 審 議

▽19日(月) 一般質問

▽20日(火) 一般質問

▽21日(水) 一般質問

▽22日(木) 逐条審議

閉 会

※12月は町長選挙のため、11月開催となる予定です。詳細は議会事務局にお問い合わせください。



町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

広報研修会

広報委員は7月と10月に開催された全国町村議会議員広報研修会に参加しました。

議会だよりが、より身近に感じ、また議会活動がよりわかりやすく伝えられるよう、広報委員一同今後も努めてまいります。



大子町議会 広報委員会

委員長 須藤 明
副委員長 佐藤 正弘
委員 菊池 富也
委員 菊池 靖一
委員 大森 勝夫
委員 中郡 彦

あとがき

9月定例会が14日に閉会しました。前号を発行して早3カ月、あつという間には過ぎていきます。この議会だよりがみなさまのお手元に届く頃は、紅葉の季節になっていないでしょうか。今は甘酸っぱい奥久慈りんごの香りを感じながら、委員一同編集作業に追われています。

6月定例会から一般質問の時間の選択する方法が導入されて2度目の議会。質問の幅や質問方法にも工夫が加わり、課題はあるものの定着しつつあるように思います。これからも研鑽を重ね、みなさまに信頼される議会を目指してまいります。

(須藤 明)